

第 年 月 日  
平成 年 月 日

小平産業株式会社 殿

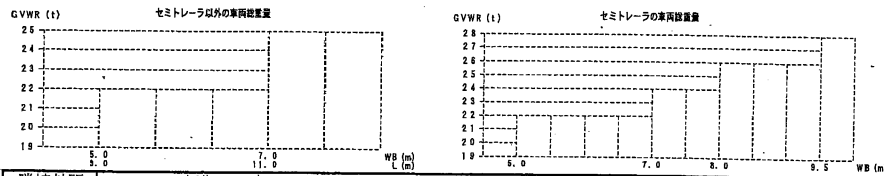
改造等概要説明書(改造自動車等審査結果通知書)

- (指示事項) 1. 本改造車両は、23国自審 第201号、新型自動車番号 新06992号、類別0001の車両に限る。  
 2. 本車両は、車台番号 KFL32-0070,0071,0072の3台限りとする。  
 3. 検査の際には、改造部分詳細図を添付すること。  
 4. 車両は、車両総重量(分割可能な貨物) [004] について保安基準の緩和を要す。  
 5. けん引自動車は、いすゞ LKG-EXZ52AJ (第5輪荷重 10800kg) で検討した。

主要諸元比較表 標準車種の類別等を記載する。(0001)

項目		標準車	改造車	基準・限度	項目		標準車	改造車	基準・限度
車名	コダイラ	コダイラ			乗車定員人				
型式	KFL32	KFL32改			最大積載量 kg	28200	24800		
自動車の種別	普通	普通		車両総重量 kg	前前軸重	9500	9290	≤10t	(11990 kg)
用途	貨物	貨物			前後軸重	8795	8900	≤10t	(10395 kg)
車体の形状	セミトレー	ダンプセミトレー			後前軸重	8795	8900	≤10t	(10395 kg)
燃料の種類	---	---			後後軸重	8790	8900	≤10t	(10390 kg)
原動機型式	---	---			計	35880	35990	≤20t~28t	(39480 kg)
総排気量(L)又は定格出力(kw)	---	---			最大安定傾斜角度	左 49※1 右 49※1	45※2 45※2	一般≥35° その他≥40°	
長さ m	12.515 (11.935)	10.410 (9.700)	≤(12m)		タイヤサイズ	前前軸 11R22.5-14PR 前後軸 11R22.5-14PR	11R22.5-16PR 11R22.5-16PR	(10900 kg) (10900 kg)	
幅高 m	2.490 2.275	2.490 3.700	≤2.5m ≤3.8m		前後軸	11R22.5-14PR	11R22.5-16PR	(10900 kg)	
軸距 m	6.910+1.300 +1.300 =9.510	5.420+1.300 +1.300 =8.020			後後軸	11R22.5-14PR	11R22.5-16PR	(10900 kg)	
輪距 m	前輪 1.845 後輪 1.845	前輪 1.845 後輪 1.845			前輪荷重割合	空車 --- 積車 ---		≥18,20%	
室内又は荷台の内側の寸法	長さ m 12.180 幅 m 2.440 高さ m ---	長さ m 9.500 幅 m 2.300 高さ m 0.730		リヤオーバーハング m	2.425	1.600	≤1/2, 33/30, 3/30 (3.650 m)		
車両重量 kg	前前軸重 1380 前後軸重 2100 後前軸重 2100 後後軸重 2100 計 7680	前前軸重 2460 前後軸重 2910 後前軸重 2910 後後軸重 2910 計 11190		荷台オフセット m	2.365	1.850			
				最小回転半径 m	10.2※1	9.0※2	≤12m		

車両総重量・軸重等の基準



隣接軸距	1.8m未満	1.8m以上	1.3m以上1.8未満(1の車軸にかかる荷重が9.5t以下である場合)
隣接軸重	kg ≤18t	kg ≤20t	kg ≤19t

能力強度等検討書

制動能力	踏力 --- N 60 km/h 36.8m	車軸強度	$\sigma_B/\sigma$ --- / --- = --- ≥ 1.6
	空気圧 700 kPa	操縦装置強度	$\sigma_Y/\sigma$ --- / --- = --- ≥ 1.3
推進回転数	Nc/Np --- / --- = --- ≥ 1.3	緩衝装置強度	$\sigma_B/\sigma$ 1520 / 814.85 = 1.86 ≥ 1.6
強度	$\sigma_B/\tau$ --- / --- = --- ≥ 1.6	緩衝装置強度	$\sigma_Y/\sigma$ 1370 / 814.85 = 1.68 ≥ 1.3
車枠強度	$\sigma_B/\sigma$ 490 / 157.30 = 3.11 ≥ 1.6	制動装置強度	$\sigma_B/\sigma$ --- / --- = --- ≥ 1.6
	$\sigma_Y/\sigma$ 325 / 157.30 = 2.06 ≥ 1.3	連結装置強度	$\sigma_B/\sigma$ --- / --- = --- ≥ 1.6

- 注1. 能力検討欄は、該当しないものは、省略したものは×を記入すること。  
 注2. 指示事項欄又は能力強度等検討書欄は、必要に応じて指示欄又は項目を追加・削除することができる。  
 注3. 現車審査の際は、通知書及び改造部分詳細図等の添付資料を提示すること。(9. (1) 関係)  
 注4. ※1はいすゞPDG-BXD52E8、※2はいすゞLKG-BXZ52AJとの連結時を示す。

改造等の概要

目的	本車両は、コダイラKFL32型を基本に、分割可能貨物基準緩和(幌枠型、固縛を前提にしないもの)ダンプセミトレー(土砂)として新たに製作されるものです。尚、架装にあたり下記の改造を実施します。
車枠及び車体	緩衝装置のブラケットを1.490m移動します。 軸距を6.910m+1.300m+1.300m=9.510m から 5.420m+1.300m+1.300m=8.020mに変更します。 フロントオーバーハング0.425mを0.505mに変更します。 リヤオーバーハング2.365mを1.050mに変更します。 前部フレーム高さ0.250mを0.270mに変更します。 飛散防止シート、積載重量の自重計、過積載防止装置を取付けます。
原動機	
動力伝達装置	
走行装置	
操縦装置	
制動装置	
緩衝装置	コダイラKFL32型セミトレー(23国自審 第201号、新型自動車番号 新06992号、類別0001)のリーフ・スプリング板厚14mmから、アンチコASF280型セミトレー(23国自審 第201号、新型自動車番号 新16745号、類別002)のリーフ・スプリング板厚13mmに変更します。
連結装置	
燃料装置	
電気装置	

- 注1: 変更のない事項については、斜線を記入又は網掛けを施すこと。  
 注2: 届出者は、自動車の点検及び整備に関する情報の提供並びにリコール届出に関する責務があります。なお、リコール届出に関しては、その実施について道路運送車両法(昭和26年6月1日法律第185号)に基づく勧告、命令を受ける場合があります。(第57条の2、第63条の2、第63条の3関係)

Y40458